



中央小だより

令和3年2月No.14

旭市立中央小学校

児童数 676名

暦の上では立春を迎え、春の始まりとなりました。寒い中でも日脚が伸び校庭の桜のつぼみが膨らみ始めました。2021年の立春は2月3日となり節分は124年ぶりに2月2日となりました。一日も早く感染症が退散し、希望に満ちた春がやって来ることを願っています。



校内作品展開催（2月1日～5日）

今年度は、例年夏休みに行われている図画・ポスターの作品募集がなくなり、1月下旬に開催されていた「旭市図工・美術作品展」も感染症対策で中止となりました。そこで、校内で作品展を開き、子ども達が図画工作に一生懸命取り組んできた成果を発表し、芸術に親しむ豊かな情操を育みたいと考えました。子ども達の作品が学校中に掲示されると校内がとても明るくなり、友達の作品を楽しそうに鑑賞している姿も見られました。各学年から校長賞、教頭賞、金賞が選ばれましたが、どの作品も素晴らしく審査には大変時間がかかりました。創造力豊かな作品を完成させた全員の子供達に拍手を贈りたいと思います。

1年生



「けんかした山」や「スイミー」のお話の絵を場面を想像して表現しました。

2年生



「かさこじぞう」や「ないた赤おに」など、学習した物語文から心に残った場面を描きました。

3年生



「のらねこ」や「モチモチの木」などの場面から中心を決め、内容が伝わるように描きました。

4年生



自分が好きな物語の気に入っている場面を想像して表現しました。色の塗り方を工夫しました。

5年生



動きのある絵を多色刷り版画で表現しました。彫刻刀の使い方にも慣れました。

6年生



12年後の自分が活躍する姿を想像し、紙粘土で立体的に表現することができました。

中央っ子アラカルト

～児童会活動の紹介～

給食委員会

食器や食缶をコンテナに積み込む作業を助けたり、ごみをまとめたり、全校の給食の片付けを手伝います。



栽培委員会

歌壇にパンジーやビオラを植え付け、水かけや花の手入れ、花壇の草取りを毎日交代で行っています。



整美委員会

週に1回、校内のプラスチックゴミを回収し、校内の整美に努めています。分別回収を心がけています。



代表委員会

学級や各委員会の代表が学校をよりよくするために話し合い、決まった内容を全校に呼びかけています。



6年生「卒業制作」～ひろがる言葉～ 書写の学習から

6年生の廊下には書写の時間に書いた「卒業制作」の文字が並んでいます。3月に卒業をひかえた6年生の「今」。「今」しか書けない言葉、「今」だから残したい言葉を選び、心をこめて毛筆で書きあげました。6年生の作品と言葉を選んだ理由を紹介します。

「ふみ出す一步」・・・中学校に向けてまた第一歩を前にふみ出すと言う気持ちで書きました。

「独立」・・・人に助けってもらってばかりだから、人に頼らず自立するために書きました。

「絆」・・・小学校生活6年間で築いてきた大切なものという思いがこめられています。

「感謝」・・・学校では友達も先生も親にも感謝することが多く「友達って大事」と思うことがたくさんあったので、この字にしました。

「心で見なくちゃ ものごとはよく見えないってことさ」・・・「星の王子様」の文章の一節です。とても感動した場面でこれを見てから物事の本質を見ようとしました。



お願い

自転車の安全利用について

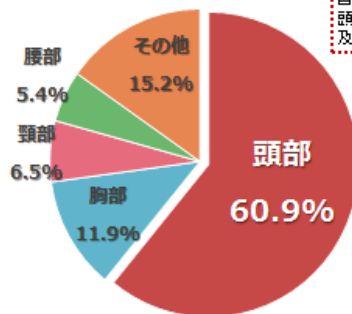
千葉県では平成29年4月1日に「千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行され、自転車利用者の自転車保険への加入やヘルメットの着用について保護者の努力義務が定められています。右の資料からも、自転車事故の際に頭部を損傷する割合が高いことが分かります。

本校高学年のヘルメット所有率は、約59%です。所有していても着用していないケースも見られるようです。交通事故の被害軽減のため、乗車用ヘルメットを着用する習慣が身につくようにご家庭でもご指導をお願いします。

自転車事故による損傷部位別死者数の割合

(平成31年 全国 警察庁交通局統計による)

平成26年～平成30年の5年間の合計で、自転車事故での死者数2,553人のうち、頭部損傷による死者数は、1,555人に及びます。



- 乗車用ヘルメットは、転倒や事故の際に頭部への衝撃を和らげます。
- ヘルメット非着用者の致死率は、着用者の約2.5倍になります。

乗車用ヘルメットは被害軽減に有効です!

(平成31年4月警察庁「自転車関連事故に係る分析」)